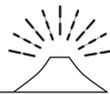


## 静岡県東部地域 × スポーツ

## サッカー編



©2025 azul claro

静岡県東部地域インタビュー企画

アスクラロ沼津

齋藤 学 (さいとうまなぶ) 選手

「皆さんの誇りになれる、地元のプロチームへ！」

アスクラロ沼津は沼津市をホームタウンとし、静岡県東部地域を拠点に活動しているプロサッカーチーム。

齋藤学選手は神奈川県出身の元日本代表選手。横浜F・マリノスでJ1にデビューして以来、海外を含めた数々のチームでの活躍を経て、2024年シーズンからアスクラロ沼津に所属。ポジションはフォワード、ミッドフィールダー。



## 仲の良い友人もいる静岡には、もともと親しみを感じていました

「私はお隣の神奈川県の出身で、また静岡市でいちご農家をやっている友人のところに時々出かけていたことなどもあり、もともと静岡には親しみを感じていました。その当時はまさか自分が静岡のチームに所属するとは想像もしていませんでしたが、こうして好きな地域のチームに所属することになったのも、私にとって良い巡り合わせのひとつだったと感じています。

沼津に来て最初に感じたことは、やっぱり『富士山が近い』ということでしょうか。

静岡県の周辺でも富士山は見られますが、間近で見上げるその大きさや存在感はやっぱりこの地域にいないと感じられないこと。特に晴れている日に見事な富士山が見られると、その度にある種の感動や気持ち良さを感じますよね。」

「海があり、山があり、またたくさんの温泉がある静岡県東部から伊豆地域は、とても自然と魅力にあふれた素晴らしい地域だと思います。自分の印象では神奈川県と距離的には近いんですが、静岡の方が晴れている日が多いというのが正直な実感です。

気候面では、スポーツ選手としては特に冬が暖かいのありがたいですね。寒い地域や雪の多い地域だと冬は屋外でのトレーニングが難しいんですが、沼津では普通に練習や試合をすることができますし。ただその反面で、夏の厳しい暑さに堪えるという面もあるんですが… (笑)」



## 近隣に多くの温泉があるのは、プロ・アスリートにとっての大きな恵み



「そんな静岡で暮らして一番驚いたのが『水道の水がそのまま飲める』ということ。都市部を始めとしているんな所に住みましたが、これまでは『水は買うもの』というのが当たり前だったんです。でも、こちらに来てしばらくしてからは水道水をそのまま飲むのが自然なスタイルになりました。

また私は自炊もするんですが、この地域の食べ物、特に海鮮類については他の地域とは大きく異なっていますよね。スーパーなどで当たり前売っている魚介類や、お店での食事の時に出てくるもの、そのどれもこれもが他の地域で食べるものより大きくて美味しいんですよ。」

「チーム練習の他に個人でのトレーニングなどもあるので、普段あまり完全な休日は取れないのですが、フリーな時間があれば近隣の温泉を良く利用しています。私たちにとっての温泉はただくつろぐ場所というだけでなく、体調をケアする上でもとてもありがたい存在なんです。練習で疲労を感じたら温泉でこまめに交代浴などを行って自分の体をリカバリーする…。そんな意味でも、気軽に温泉を利用できるという地域特性はプロアスリートの生活環境としてとても恵まれていると思います。

つい先頃には南伊豆の観音温泉も利用させてもらったんですが、さすがに日本を代表する泉質を誇るだけあって、心身ともにとっても充実した時間を過ごさせてもらいました。」

## 選手としてのさらなる活躍と、チームへの貢献が今シーズンの目標

「まずは一人の選手として常に試合に出たいですし、もっともっと点も取りたい、アシストも増やしたい。アスルクラロ沼津に加入してからは、これまで以上にそうした気持ちが強くなっています。

またチームに対しては『この若いチームを一つでも上のランクに引き上げたい』と、チームを引っ張る一人としての責任感も改めて強く感じています。

アスルクラロ沼津の今シーズンの最大の目標は『J2 昇格』。これを実現するためにはシーズンを通して試合で結果を出し続けるだけでなく、観客動員をさらに増加させていく必要もあります。

そのために私たちがまず最初に考えるべきことは、『アスルクラロ沼津を、我が地元のチーム』として皆さんに誇ってもらえるような強いチームにすること。

私たち選手一人ひとりがプロ選手としてのプライオリティをしっかりと心に刻み、『自分たちが何をすべきか、何ができるか』を常に考えることが、このチームのファンをさらに増やすことにつながるんだと思っています。」

## 自然に観客が集まるチームになることが、「J2 昇格」へのカギ

「アスルクラロ沼津は静岡県東部のプロチームとして、沼津を中心とするこの地域全体に支えられているチームですから、選手一同だけでなくチームに関わるスタッフ全員が、地域の皆さんとの交流をより活発化させていきたいという気持ちを抱いています。もちろんチームの選手たちも個々に、日々の暮らしを通じて地域の方々とは仲良くなったり、積極的にコミュニケーションを図ったりしていますし、またチーム主催のスクールなど様々なイベントを通じたファンサービスの機会もますます充実度が向上しているなど、アスルクラロ沼津は他の多くのチームと比べても地域とのつながりが強いチームだと感じています。」

「ただその一方で、先頃らば一と沼津で選手たちがチラシ配りを行った時に、『アスルクラロ沼津を御存知ない方もまだまだいるんだ』と感じたのも事実です。

地域におけるアスルクラロ沼津の知名度をさらに上げて、スタジアムに来場してくれるファンをさらに増やしていくためには、チームの強化による確かな実績、そして地域との活発な交流の2つの柱がともに必要となります。常に自らを高め、しっかりとした練習を重ねて、皆さんに素晴らしい試合を御覧いただくことが『真に地域に根づいたチーム』のあり方であり、また『J2 昇格』を現実のものにする道だと思っています。」

「アスルクラロ沼津には幸い、全国でも高い知名度を持つ中山雅史監督という大きな存在があります。

恵まれたチーム環境を生かして良い試合をし、試合に勝ち続けることで自然に観客が増えていき、またアスルクラロ沼津の認知度も上がっていく…。そんな良いスパイラルを実現していけるよう、これからも選手とスタッフ、サポーターの皆さんが一丸となって地域を盛り上げていければと思っています。ぜひ皆さんの応援をよろしくお願いします！」



©2025 azul claro



静岡県東部地域局

〒410-0055 沼津市高島本町 1-3  
TEL 055-920-2139  
MAIL [toubu-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:toubu-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp)

X [Toubu\\_shizuoka](https://www.instagram.com/toubu_shizuoka/) / [Instagram shizuoka.pref\\_toubu](https://www.instagram.com/shizuoka.pref_toubu/)



発行 令和7年2月